

# 環境省中央環境審議会



## 地球環境部 長期低炭素ビジョン小委員会

11月29日  
第9回：ヒアリング資料

Presented by 青年環境NGO Climate Youth Japan

# Climate Youth Japan

2009年COP15に集った日本ユースが結束し、設立。  
大学生・若手社会人を中心に、オンラインでの会議によって運営。

日本全国の青年の気候変動問題への関心を向上させることや、  
気候変動政策への意見発信に挑戦。

アジアをはじめとする世界中のユースとつながり、  
「衡平で持続可能な社会」の実現のために様々な企画、国際会議への  
参加などを行っている。

# YOUTH= 環境ネイティブ世代?

# 1992

地球サミット

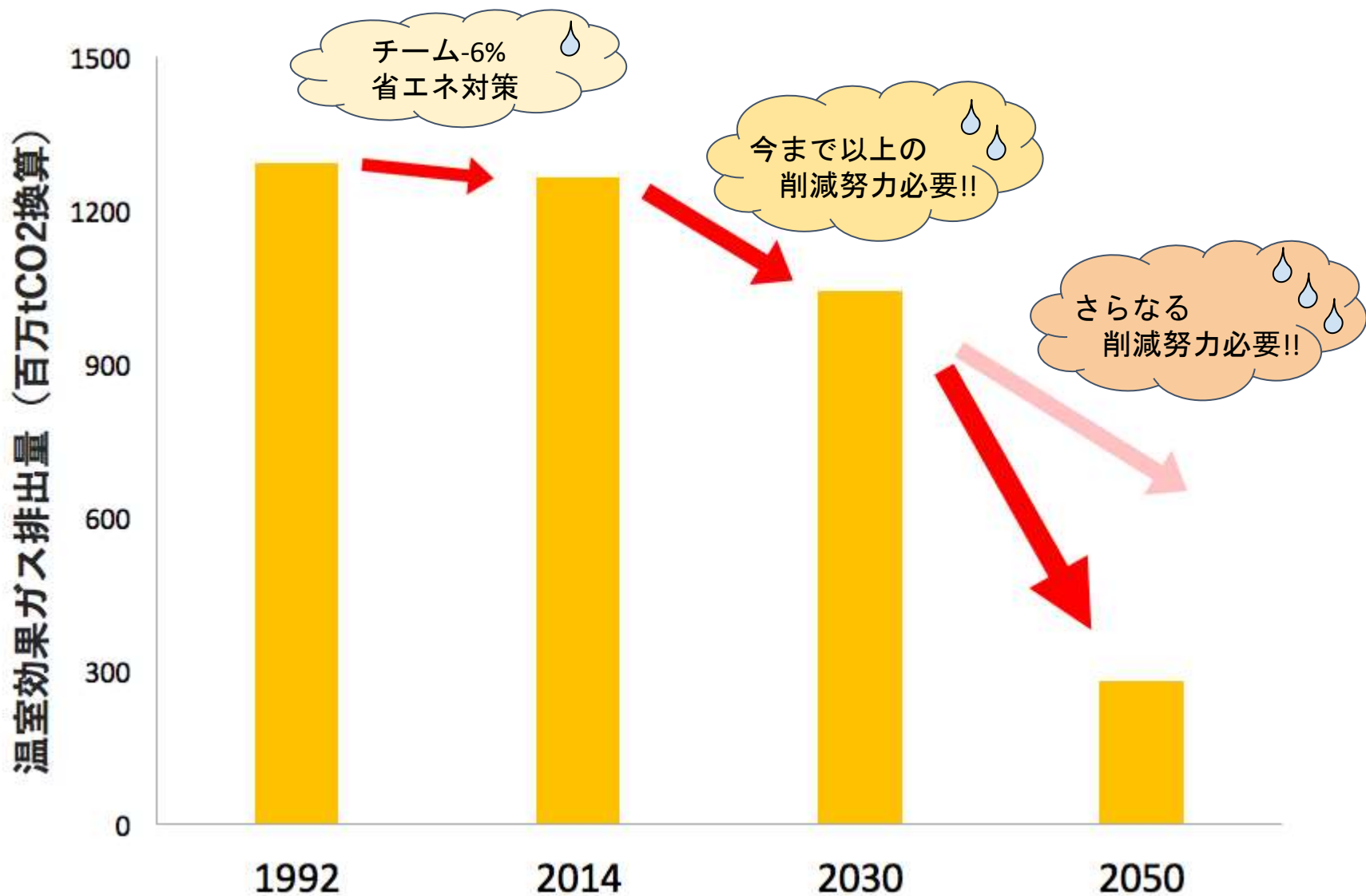
気候変動枠組条約採択



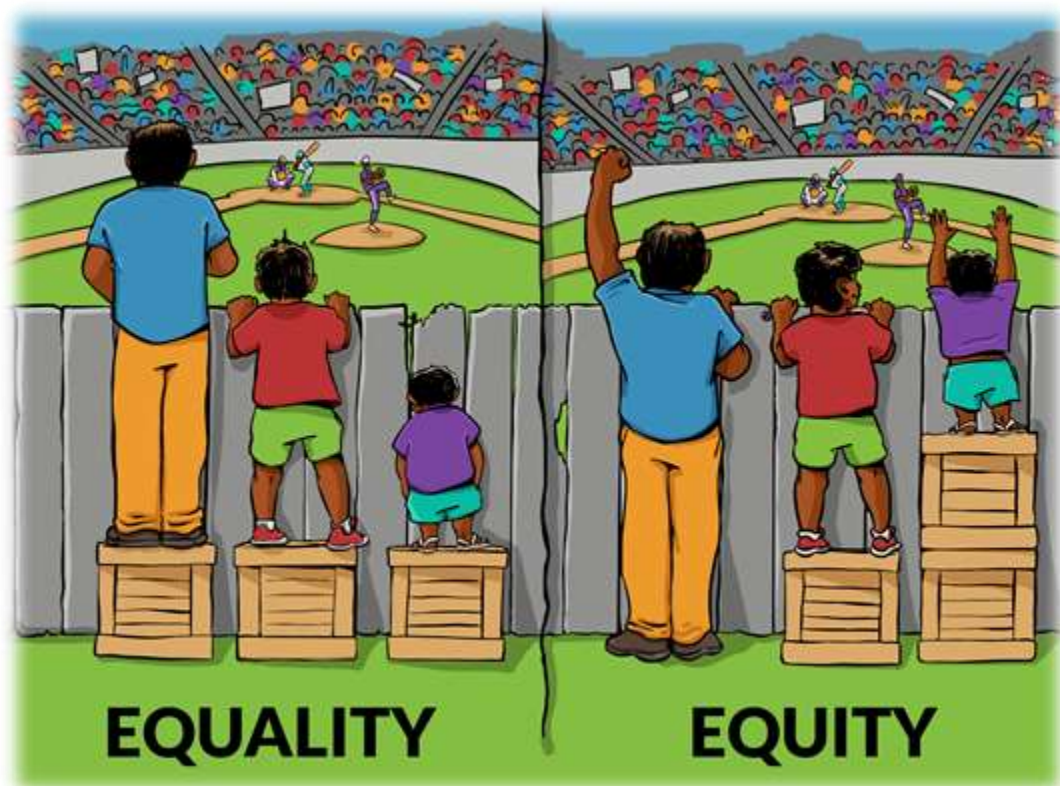
# 1997

京都議定書採択

# 私たちの未来：日本の温室効果削減目標



# 世代間衡平性



## 衡平性 (Equity)

現在世代が気候変動対策に  
今取り組まないと将来世代に  
その負担が大きくなる。

[http://interactioninstitute.org/wp-content/uploads/2016/01/IISC\\_EqualityEquity.png](http://interactioninstitute.org/wp-content/uploads/2016/01/IISC_EqualityEquity.png)

# YOUTHの気候変動防止に向けた活動



全国青年環境連盟Campus Climate Challenge実行委員会では、全国約750大学を対象に独自に「大学における環境対策等に関する全国調査」を実施。



エコ大学ランキング、全国エコ大学白書などを作成し、キャンパスのサステナビリティ化を後押ししている。



# CAMPUS

# YOUTHの気候変動防止に向けた活動

## NETWORK

世界中の気候変動に関心の高いユースが連携。

毎年Conference of Youth(若者会議)をCOPに合わせて開催し、世界のユースが互いに意見交換や成功事例の共有を行っている。

2015年には東京で東アジアのユースを集めて若者会議を開催し、共同声明の作成や街頭で温暖化防止への呼びかけを行った。



# YOUTHの気候変動防止に向けた活動

気候変動問題の解決策として、若者ならではの斬新なアイデアを発掘。

フランスのユースが始めたアイデアを実現するためのワークショップ「Make It Real」を昨年日本でも開催。

温暖化防止のための、新しいビジネスモデルの構築にチャレンジ。

そのほか、ユース同士の対話によって、ビジネス・政策・草の根活動などのこれまでにないアイデアの発見のために意見交換会やイベントが活発に行われている。



IDEA

CYJでは、2020年開幕の東京オリンピックに向け、東京オリンピック組織委員会低炭素ワーキンググループと協働した意見提案を企画。



## Intervention : Opening statement at APA

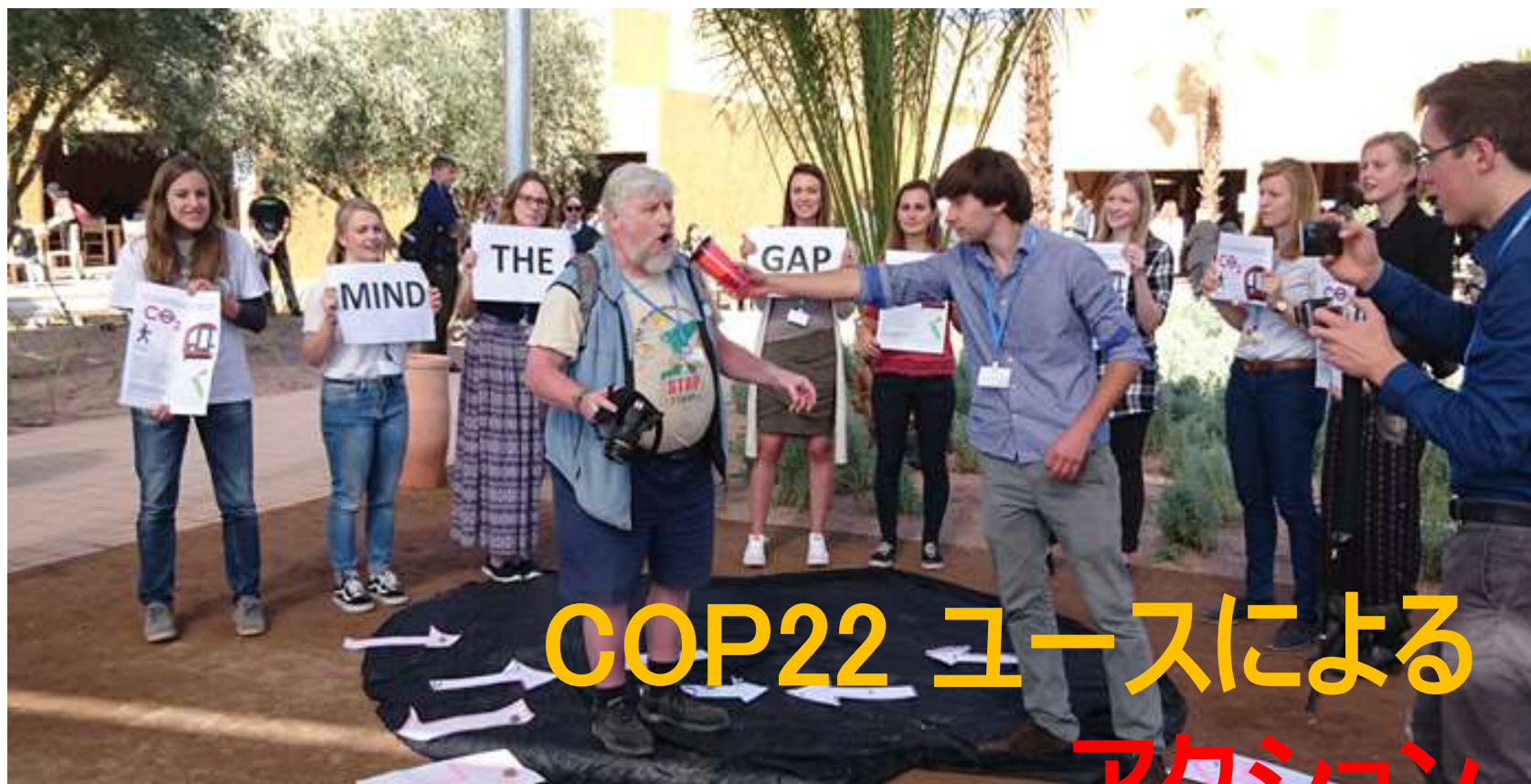
国際交渉の現場では、ユースも声を直接届けている。  
内容は2020年までの目標引き上げ、気候正義、気候資金、教育など。



COP22 ユースによる  
スピーチ

## Action! Mind the Emissions GAP

2020年までの取り組みを進めないと、将来世代にツケを回す、とりかえしがつかなくなることを訴えている。



**COP22 ユースによる  
アクション**

## 長期戦略に加えてほしいと考える事項①

- 世代間衡平への配慮

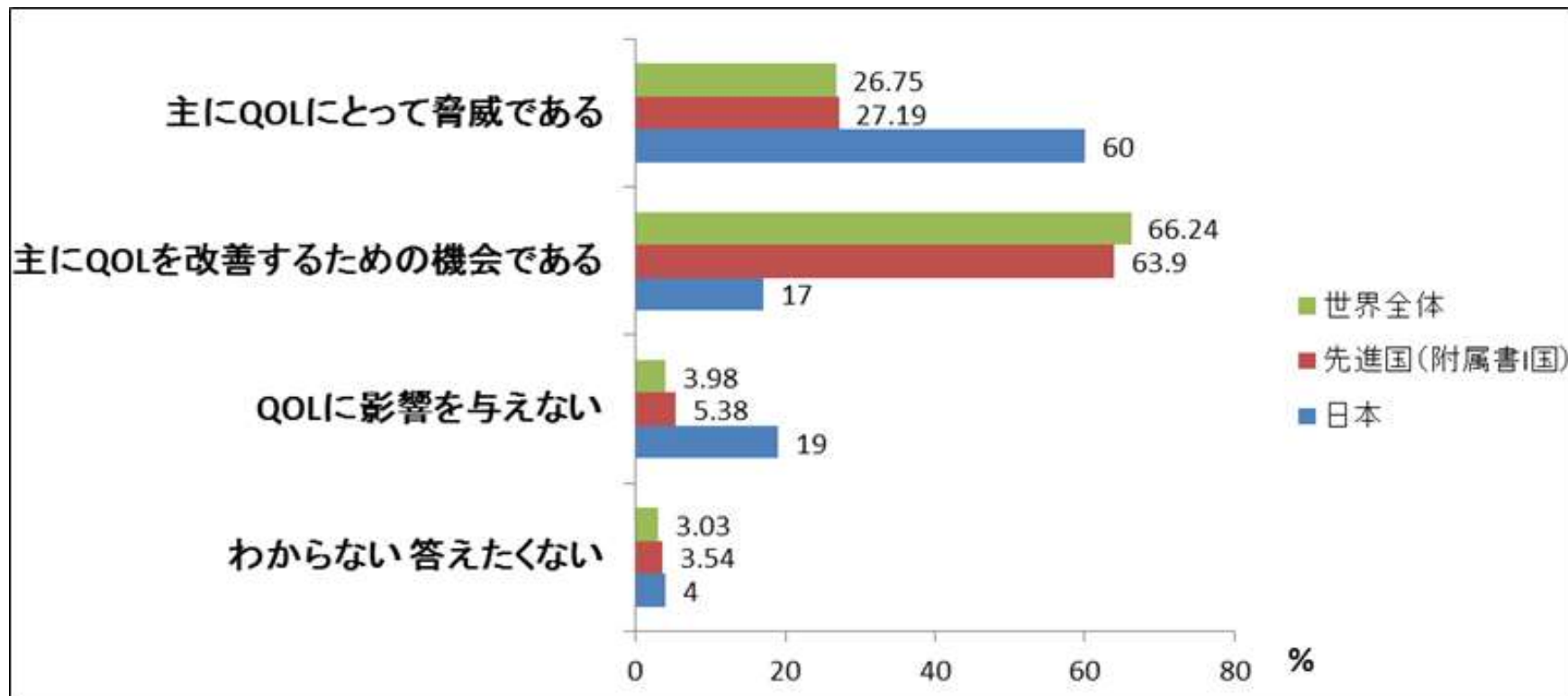
- 重要なステークホルダー、脱炭素社会を担う人材としてのユースの育成・協働

## 長期戦略に加えてほしいと考える事項②

●脱炭素社会＝より衡平で発展した社会

“ポジティブなビジョン”を。

# あなたにとって気候変動対策は？



気候変動対策はQOLを改善する機会(opportunity)である  
 日本**17%**、先進国**63.9%**

World Wide Views Climate and Energy  
<http://climateandenergy.wvviews.org/results>

# アメリカ大統領選挙を受けて、 ユースのアクション

## ドナルド・トランプの氏の当選を受けて、 SustainUSのアクション



私たちは、私たちの未来へと、歩み出しています。



## 補足資料： 団体活動紹介

問い合わせ先：[info@climateyouthjapan.org](mailto:info@climateyouthjapan.org)



# 2010-2016年度の活動

## 気候 リーダーズ 事業

過去にCOPに参加した若者同士をつなぎ、ネットワークづくりを促進。



## COP 派遣事業

COP16～COP22に日本ユースを派遣。海外ユースとの協働や、COY・サイドイベントなどに参加。



全国でメンバーが活躍中



## オリンピック・ パラリンピック 事業

東京オリンピックの低炭素化に向けた意見提案を実施。(2016年～)

## 意見発信 事業

経済産業省でのWSを過去3回開催。経産省・環境省・外務省には毎年声明文を提出。



# 気候リーダーの育成

気候変動枠組条約締約国会議（COP）への派遣



COP16@カンクン（9名）

COP17@ダーバン（6名）

COP18@ドーハ（5名）

COP19@ワルシャワ（6名）

COP20@リマ（5名）

COP22@マラケシュ（3名）



# ユースの気候変動への関心向上

## ワークショップの開催



### \* 過去のワークショップで扱ったテーマ

- ・ 経済産業省職員との合同WS
- ・ 気候変動と震災、エネルギー政策
- ・ 温暖化対策基本法
- ・ ユースに何ができるか
- ・ Rio+20と日本のエネルギー政策
- ・ 気候変動とどう向き合うか
- ・ パブリックコメント
- ・ Under 30 シンポジウム（異分野協働） など

# 意見発信

若者の視点を盛り込んだ声明文の作成、提出  
COP16~COP22  
環境省・外務省・経産省の3省に提出



# ネットワーク構築

海外青年団体、国内環境団体との協働



Asia Youth Climate Network (AYCN)



国連世界防災会議ユースフォーラム内での企画



海外青年との協働イベント